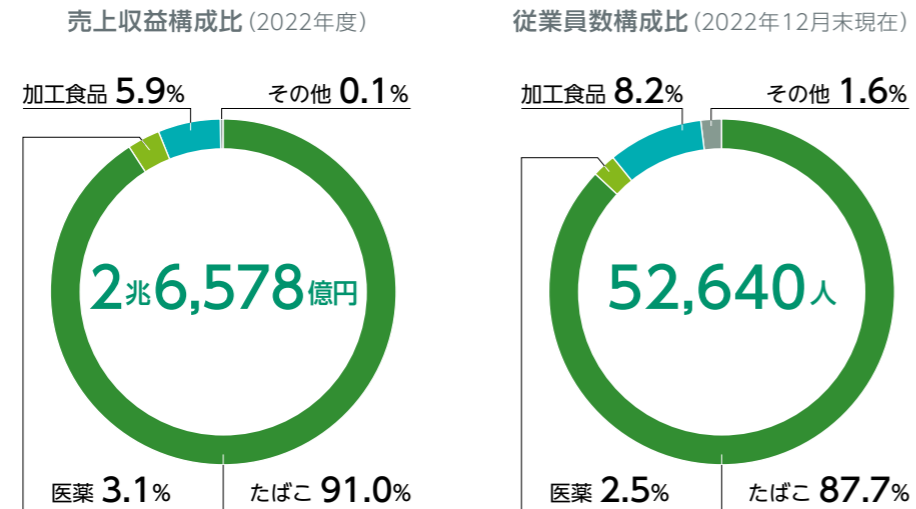


事業概要

JTグループは、130以上の国と地域で製品を販売するグローバルたばこメーカーです。
たばこ事業に加え、医薬事業と加工食品事業も展開しています。



たばこ事業

たばこ事業は、2022年よりスイス・ジュネーブに本社機能を設け、世界各国でたばこ製品を製造販売しています。

主な市場として、日本、フィリピン、台湾、イタリア、スペイン、英国、ルーマニア、ロシア、トルコが挙げられます。製品ポートフォリオにはPloomやLogicなどのRRP*に加え、Winston、Camel、MEVIUS、LDといったCombustiblesのトップブランドがあります。



* RRP (Reduced-Risk Products): 喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品

医薬事業

医薬事業は、「循環器・腎臓・代謝」「免疫・炎症」「中枢」の3領域を中心に、医療用医薬品の研究開発、製造販売を行っています。

主要な製品には、「コレクチム®軟膏0.5%、0.25%」「リオナ®錠250mg」「エナロイ®錠2mg、4mg」などがあります。



加工食品事業

加工食品事業は、冷凍麺、冷凍お好み焼、パックごはんを主力とする冷食・常温事業、酵母エキス調味料などを主力とする調味料事業を展開しています。

主要な製品には、冷凍麺の「冷凍さぬきうどん」や、冷凍お好み焼の「ごっつ旨いお好み焼」、酵母エキス調味料「パーテックス」などがあります。



グローバルな事業基盤

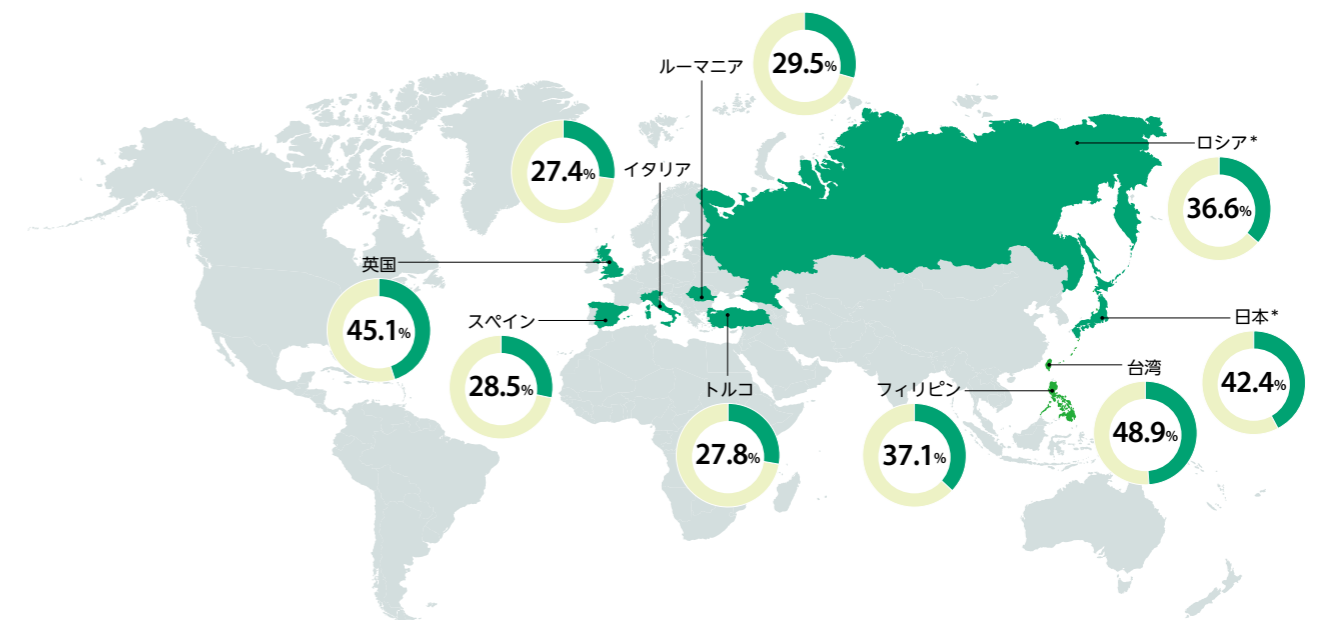
たばこ事業は、販売数量で世界第3位*を誇り、世界における販売数量シェア上位10ブランドのうち3ブランドを製造・販売しています。

お客様に信頼される高品質なたばこづくりを目指し、グローバルな製造体制を構築しています。2022年12月末時

点で、日本国内では3つのたばこ製造工場および2つのその他たばこ関連工場が、日本を除く27の国・地域では33のたばこ製造工場（その他たばこ関連工場含む）が稼働しています。

* China National Tobacco Corp. (中国専売公社)を除く

たばこ事業における主要市場シェア (2022年度)



* 日本とロシアにおける市場シェアは、CombustiblesおよびRRPを含みます

生産拠点 (2022年12月末現在)



たばこ事業 **38** 拠点 (国内 5、海外 33)

加工食品事業 **23** 拠点 (国内 15、海外 8)

(注) 医薬事業は生産拠点を保有していません

- **たばこ製造工場**
 - 欧州: 11拠点
 - 中近東・アフリカ: 8拠点
 - アジア: 9拠点
 - 北米: 1拠点
 - 中南米: 1拠点
- **その他たばこ関連工場**
 - 欧州: 2拠点
 - 中近東・アフリカ: 2拠点
 - アジア: 3拠点
 - 北米: 1拠点
- **加工食品工場**
 - アジア: 22拠点
 - 北米: 1拠点